

2024. 02. 27

No.053

1月23日東地申第26号

「2023年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ  
【柏営業統括センター（我孫子駅）】団体交渉！ その4

組合：常時3窓開けておくということではなく、いつでも窓口に入れる体制が必要である。

会社：意見は伝える。

4. 我孫子駅営業社員の出札スキルを低下させないための具体策を明らかにすること。

回答：引き続き、必要な教育は実施していく考えである。

組合：取手が閉鎖となり1年が経過。要員不足でなかなか柏の出札にも入れない。「不安」という声もある。小駅から大駅へ行くのも不安。不安解消のための方法も考えるべきだ。経験者に対してもコミュニケーションをとって見習い期間を定めるべきだ。

会社：箇所内での融合社員の育成方針もあるが、日勤の一部時間での見学・見習いなどもできる。回数ありきではなく、管理者によるスキル・状況・不安の把握は重要。普段からコミュニケーションを取るよう管理者に伝えていく。

組合：見習いが入る際、3窓開けてフォローすべきだ。

会社：方法の一つ。箇所の工夫の一つとしてあり得る。

組合：現実、スキルは低下している。入らないとスキルは低下するという認識で良いか。

会社：取手の施策では柏と他職場であったため兼務発令などが必要だった。現在は同じ職場となり、実践的にスキル維持ができる。

組合：窓口で売ることがスキル維持向上につながるということで良いか。

会社：その通り。

組合：せっかく身につけたスキルをなくすことはもったいない。窓口が少なくなる中で、スキル維持の観点からも施策を考えていくべきだ。

会社：意見は承る。